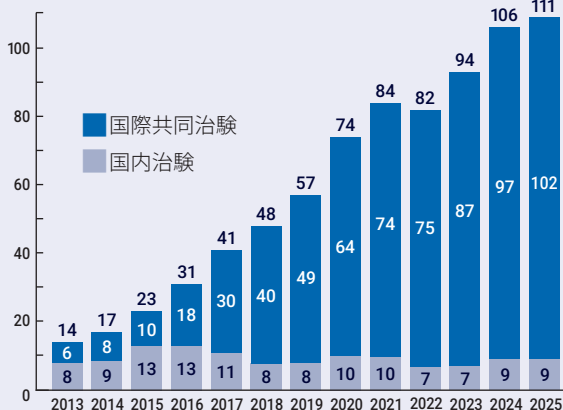


日本のイノベーションと科学へのコミットメント

アヅヴィは、最先端の科学技術と先進的な取り組みにより、日本社会のために一日も早く革新的な新薬を開発し届けることにコミットしています。私たちは、グローバルな知見と日本で培った専門性を活かし、患者さんの笑顔に貢献できるよう取り組んでまいります。

2013年～2025年の開発の活動動向

臨床試験数



臨床試験(2025年)のうち

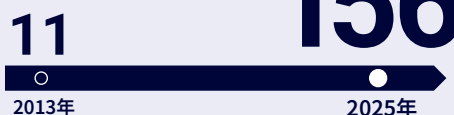
90%以上が国際共同治験



開発品目数



プロジェクト数*



※効能等の数

欧米に遅れることなく、パイプラインの同時開発・同時申請を進め、患者さんにいち早く新たな治療選択肢の提供を目指しています。

同時申請

6件



2020年以降、欧米の申請後30日以内に申請したもの。
(欧)は欧州のみとの比較

- | | |
|---|----------------------------|
| 「リンヴォック®」
・関節症性乾癬
・アトピー性皮膚炎
・クローン病 | 「ベネクレクスタ®」
・急性骨髄性白血病(欧) |
| 「スキリージ®」
・潰瘍性大腸炎 | 「ヴィアレブ®」
・パーキンソン病 |

世界に先駆けての承認取得と発売

2件

- 2019年
ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤 スキリージ®製造販売承認取得
- 2023年
抗パーキンソン剤 ヴィアレブ®発売

グローバルFirst in Human (G-FIH)* 試験への参入

32試験

欧米と同時開発・同時申請を目指し、2020年以降G-FIH試験への積極的な参入を進めています。

※ヒトに初めて投与する試験

日本の医療現場のニーズに応えるべく、日本独自で開発を行ったり、小児医薬品の開発へも力を入れています。

日本での独自開発

6件



「ヒュミラ®」

- ・腸管型ベーチェット病 (2013年)
- ・膿疱性乾癬 (2018年)
- ・壞疽性膿皮症 (2020年)

「スキリージ®」

- ・膿疱性乾癬 (2019年)
- ・乾癬性紅皮症 (2019年)
- ・掌蹠膿疱症 (2023年)

小児医薬品の開発の承認件数

5件



原則、全ての開発において小児医薬品の開発を行います。

「ルボックス®」

- ・小児強迫性障害 (2017年)

「リンヴォック®」

- ・アトピー性皮膚炎 (12-17歳、2021年)

「マヴィレット®」

- ・C型慢性肝炎 (12-17歳、2019年)

「マヴィレット®」

- ・C型慢性肝炎 (3-11歳、2022年)

「ヒュミラ®」

- ・潰瘍性大腸炎 (2021年)

世界のアッヴィ



世界70カ国以上の
従業員数

約57,000人

売上高10億ドル超の
ブロックバスター製品数 (2025年)

12

新製品/新適応症の
承認数 (2025年)

6

医薬品・医療機器開発プログラム数

約90

※共同開発・ライセンス契約も含む

対象となる疾患数

75以上

R&D投資額 (2025年)

138億ドル

※調整後、non-GAAP

出典:2025 Annual Report on Form 10-K

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。LinkedIn, Facebook, Instagram, XやYouTubeでも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.co.jpをご覧ください。FacebookやYouTubeでも情報を公開しています。